

国際ビジネスコミュニケーション学会関東支部会報

April 2022, JBCA KANTO CHAPTER BULLETIN, No. 116

支部長代行あいさつ

いつも大変お世話になっております。

大学などで教職に就かれている会員の皆様におかれましては新学期、そして企業に勤めている多くの方におかれましては新年度がスタートし、お忙しい日々をお過ごしのことと思います。前回（1月22日）の支部総会にてご報告させていただきました通り、藤尾美佐支部長の在外研究のため、4月より1年間、支部長代行を務めさせていただきます野村誠二です。どうぞ、よろしく願いいたします。今回は、藤尾支部長に代わりまして、私よりご挨拶させていただきます。

まん延防止等重点措置が3月21日をもって国内すべての地域において解除された新型コロナですが、感染者数は下げ止まりの状況で、リバウンドも懸念される状況にありますところから、次回4月16日（土）の2022年度第2回の支部研究会も、オンライン（ZOOM）にて実施することを決定致しました。

次回の支部研究会の前半部分では、研究報告としてのご発表を蔵屋伸子先生と井上嘉隆様のお二人にお願いしています。蔵屋先生からは、既存のテキストを利用した思考シミュレーションによるアクティブラーニングの実践を報告していただきます。また、井上様からは、グローバル人財を戦略的にどう増やすか、外部リソースにどこまで頼るべきか、などの示唆をご紹介します。

また、後半部分はミニコーナーとして、トピックとしてのミニ情報の紹介を私（野村）も含めて3名より行います。私からは、M&A（合併・買収）で企業買収を行った後に行われるPMI（Post Merger Integration、組織や業務の統合のこと）の過程での社内コミュニケーションについて、実務の現場において気がついたことをご紹介します。次に、佐藤洋一先生からは、会員の先生方の中でも関心が高いと思われる「プレゼン動画」の作成について、知っておくと役に立ついくつかのポイントを、実演形式で紹介していただきます。3人目の後宮昌樹様からは、2021年9月開催のJBCA第80回全国大会記念オンライン・シンポジウムについてのまとめの報告を行っていただきます。後宮様には、当学会の広報委員長としてホームページのリニューアルにご尽力いただいております。このホームページのリニューアルについてもご説明いたします。

研究会の最後に、イタリアより藤尾支部長にご挨拶していただく予定です。現地の近況などをお聞きできればと思っています。

今回も研究会の後には、オンライン懇親会を企画しております。会員の皆様、新学期や新年度のお忙しい時期とは思いますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいませ。

前回同様、当学会または今回の発表にご興味をお持ちのお知り合いがいらっしゃいましたら、これを機会に是非お誘いくださいませ。（下記参照）。

皆様と支部会でお会いできるのを楽しみにしております。

関東支部長代行 野村誠二

<ZOOM 研究会ご参加の際の注意点>

2022年4月16日(土) 午後2時から (ZOOMによるオンライン開催)

会員の皆様からのご紹介がありましたら、お知り合いの方に体験参加いただくことも大歓迎です。是非、お声がけくださいませ。その際は、当日のスムーズな運用のため、以下の3名のメールアドレスに、事前に出席者のお名前をお知らせいただければ幸いです。

支部長 藤尾美佐 misa_f@toyo.jp
支部長代行 野村誠二 sejjinomura@nifty.com
支部長補佐 佐藤洋一 sato108@toyo.jp

ZOOMには、マイクをオフにしてお入りください。また、万が一のことを考えまして、当日録画させていただきますので、事前にご了承くださいませ。(そのため、ビデオのオン・オフも個々にご判断いただければ幸いです)。これは公開目的ではなく、滞りなく研究会が終わった際には、すぐに消去する予定です。ただし、学会のPRのため、2、3分の動画を編集する可能性もあります。その際には、必ずご本人に事前の同意を伺いますので、同意なく画像が残ることなどは一切ありません。

ZOOMの使用にご質問がある場合は、上記、佐藤洋一先生までお問い合わせください。
多くの方のご参加、心よりお待ちしております。

2022年4月 第116回関東支部研究会報告：研究テーマと発表内容

日程： 2022年4月16日(土)

会場： Zoomによるオンライン研究会

午後2時開始 午後5時30分終了(予定)(終了後、オンライン懇談会を予定。自由参加)

午後2:00～2:10 支部長挨拶(野村支部長代行より藤尾支部長に代わり挨拶)

午後2:10～3:00 発表1(研究発表)

発表者：藏屋伸子先生(東洋大学法学部、日本女子大学非常勤講師)

題目：既存の英語テキストを利用したアクティブラーニング～ビジネス戦略利用の経営シミュレーション～

要旨：本発表では、既存のテキストを利用した思考シミュレーションによるアクティブラーニングの実践を報告する。授業の一環として企業の協力を得て活動を行う経験は学生の学びに大いに寄与するが、

実施に対してのハードルが高い。そこで、ここでは既存の英語テキスト『Global Leadership』（中谷・Smithers, 金星堂）を利用し、そこに紹介されているビジネス戦略を学ぶ英文読解の段階を経て、各ケースについて、経営者の視点から自分のビジネスへの適用を検討する活動を行い、その結果を英語でまとめさせた（ライティング）。これにより、英語を学ぶというより英語で学び英語を使う授業となり、また学生が経営を自分事として考える機会となった。

午後 3:00 ～ 3:50 発表 2（研究発表、発表は録画ビデオ、Q&A はライブで行います。）

発表者：井上嘉隆様（SAP ジャパン株式会社 エンタープライズ・ビジネス営業本部 第二営業部長）

題目：日本の IT 業界と”グローバル人財”～デジタル技術を活用した、待ったなしの生産性向上～

要旨：かねてより、「グローバル人財」とはなにか、どうすれば育つのか、育つのに何年かかるのか、といったことに関心があった。講演ではまず、IBM、Deloitte、SAP の経験から、各日本法人の社員にみるグローバル人財像の違いを分析する。次に、日本企業において、どのようなシーンでグローバル人財が求められるか、またそれを育成するために各企業はどのようなことに取り組んでいるか、について、Deloitte 時代のコンサルティングプロジェクトで経験した事例を交えながら考察する。特に、企業の海外売上上の飛躍的な成長のために、中核を担う人材セグメントは中長期経営計画を立案した時点で、育成または採用、あるいは外部調達を行う計画もたてなければならない。このセグメントを「CWS グローバル人財=Critical Workforce Segment」と呼ぶこととし、こうした人財を戦略的にどう増やすか、外部リソースにどこまで頼るべきか、などの示唆をご紹介します。

午後 3:50 ～4:00 休憩

午後 4:00 ～ 4:30 ミニコーナー 1（トピックとしてのミニ情報の紹介）

発表者：野村誠二（東京富士大学大学院客員教授）

題目：PMI（Post Merger Integration）という観点からの社内コミュニケーションについて

概要：M&A（合併・買収）で企業買収を行った後に行われる組織や業務の統合を意味する PMI（Post Merger Integration）は、その後において、M&A の成果を存分に引き出す上で重要な過程の一つとなっている。2021 年 12 月 31 日付の『日本経済新聞』朝刊によれば、近時、M&A 事案は急速に増加し、コロナ禍にも関わらず 2021 年に日本企業が関わった M&A 件数は前年比 15%増の 4,280 件と過去最多で、M&A の取引金額は前年比 12%増の約 16.5 兆円に達している。このような状況下において、業歴の長い、純粋な国内企業がいきなり海外企業に買収され外資系企業になるというケースを取り上げ、PMI の過程で生じる社内コミュニケーションの問題について報告する。

午後 4:30 ～ 4:45 ミニコーナー 2 (トピックとしてのミニ情報の紹介)

発表者：佐藤洋一先生 (東洋大学経営学部准教授)

題目：デジコミシリーズその1：知っておくと便利なプレゼン動画作成のツボ

要旨：本発表では、近年、学会発表のスタイルとして取り入れられつつある「プレゼン動画」の作成について、知っておくと役に立ついくつかのポイントを、実演形式で紹介していく。プレゼンの動画作成には、デジタル障壁がいくつか存在しており、研究者だけでなく、ビジネスパーソンも苦手意識を払拭できない場合が多い。そこで、本発表では、プレゼン動画の作成の際に、知っておくと便利な(=ストレスが軽減される)ポイントに絞って紹介する。本発表が、今後の研究・ビジネス活動をスムーズに進めていく一助となれば幸いである。

午後 4:45 ～ 5:15 ミニコーナー 3 (トピックとしてのミニ情報の紹介)

発表者：後宮昌樹様 (ビジネスコンサルタント)

題目：JBCA80周年記念シンポジウム総括から見る新しいビジネスコミュニケーション

要旨：2021年9月開催のJBCA第80回全国大会記念オンライン・シンポジウムについてのまとめの報告を行います。

また、当学会ホームページのリニューアルについても説明させていただきます。

午後 5:15 ～ 5:30 藤尾支部長挨拶

午後 5:30 ～ オンライン懇談会

前回支部会について

2022年1月22日(土)に行われました、第115回関東支部会(オンライン)の発表テーマ及び概要を報告致します。

*要旨は発表時のもの。

日程：2022年1月22日(土)

会場：Zoomによるオンライン研究会

午後2時開始 午後5時50分終了 (終了後、オンライン懇親会を実施。自由参加)

2:00 ~ 2:05 支部長挨拶および事務局からのお知らせ

2:05 ~ 2:50 発表1

発表者： 浦聡美先生 (明星大学大学院 国際コミュニケーション専攻博士課程後期)

題目： 「リングフランカ英語における人称代名詞使用の分布について」

要旨： 異なる母語を持つ話者間の英語での会話に用いられる人称代名詞は、ディスカッションの進行や関係構築にどのような影響を与えているのか研究成果を報告します。大学での体験型マーケティングプロジェクトで収集した会話データを分析しました。課題遂行や関係構築をはじめとした参与者を取り巻く背景を枠組みにし、人称代名詞の使用の現れ方を考察します。

2:50 ~ 3:20 関東支部総会

3:30 ~ 4:40 ミニコーナー

発表者： 塩見佳代子先生 (立命館大学 経営学部教授)

題目： コロナ禍でのアクティブラーニング～グローバルスポーツブランドへの広告コピー提案～

要旨： 本講演では、コロナ禍における英語のクラスにおいて、学生の創造的思考力を育む目的で導入したアクティブラーニングの一つ、バーチャル広告コピー制作について紹介する。この取り組みは、映画「What Women Want (ハート・オブ・ウーマン)」で登場した広告コピーのピッチシーンを参考に行い、学生は米国に本社を置くグローバルスポーツブランドの日本市場に向けて広告コピーを提案した。また、そのブランドの国際マーケティングマネージャーから送られてきたコメントから得た学生の実践的な学びについて述べる。

発表者： 野村誠二 (東京富士大学大学院 客員教授)

題目： 外部調査会社を利用したアンケートの実施について

要旨： 実証データをもとにした研究を行うに際して、外部調査会社を利用してアンケートを実施することのメリットや留意点について、報告します。個人情報取扱いの観点や調査を行う対象(パネル)選定の中立性、公平性を確保するために、外部調査会社を利用する必要性は増大していると思います。しかしながら、学術研究の分野においては外部調査会社を利用するケースはまだ少ないと思われるので、実際に利用する際のメリットや留意点などについて、実例を踏まえて説明します。

4:50 ～ 5:50 ワークショップ

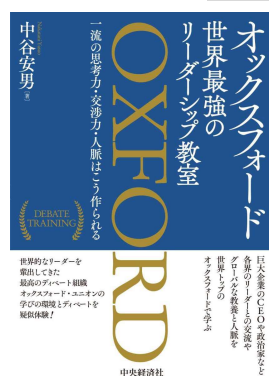
発表者： 中谷安男先生（法政大学 経済学部 教授）

題目： 質問紙調査の妥当性と信頼性を高める方法：因子分析を使ったアンケート調査用紙作成

要旨： 質問紙調査の妥当性と信頼性を高めるために、いかに因子分析を活用すべきかについて初めて使う方を念頭にわかりやすく、楽しく進めていきます。無料で使えるHADというエクセル形式のソフトを使いながら初歩から説明していきます。実際のデータを使いながら、まずはご自分で始めてみましょう。これまでの改善点や、思わぬワクワクする発見があるかもしれません。参考資料『英語教育学の実証的研究法入門 -Excelで学ぶ統計処理』研究社 寺内正典・中谷安男

5:50 ～ オンライン新年会

会員出版物案内



著者 中谷安男先生

書名 『オックスフォード 世界最強のリーダーシップ教室 一流の思考力・交渉力・人脈はこう作られる』

出版社 中央経済社（2022年2月）

*会員の方の新刊情報があれば、お知らせください。

編集・発行 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20
東洋大学 経営学部 藤尾美佐 研究室内
国際ビジネスコミュニケーション学会関東支部長 藤尾美佐
TEL 03-3945-7295 (直通) FAX 03-3945-7477 (教務課)
電子メール：misa.fujio@gmail.com / misa_f@toyo.jp
国際ビジネスコミュニケーション学会関東支部長代行 野村誠二
電子メール：seijinomura@nifty.com